

平成26年4月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	平成26年4月22日 (火)		
2 開会及び閉会	開会	14時00分	
	閉会	14時53分	
3 出席委員	委員長	塩田澄子	
	委員	曾田佳代子	
	委員	東條光彦	
	委員	奥津晋	
	委員(教育長)	山脇健	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	渡辺和夫	教育次長	植田朋哉
統括審議監(企画調整担当)	佐々木辰昭	審議監(学校教育担当)	天野和弘
教育企画総務課長	長瀬尚樹	指導課長	堀井博司
生涯学習課長	安友公夫	文化財課長	乗岡実
オリент美術館長	大塚利昭	こども企画総務課担当課長 (次世代育成担当)	光藤伸史
事務局(教育企画総務課課長代理)	赤野政治	事務局(教育企画総務課主任)	大西正記
5 議題及び結果			
第10号議案 岡山市教育振興基本計画平成26年度アクションプランの決定について			原案可決
6 教育長等の報告 [平成26年3月15日(土)～平成26年3月30日(日)]			
3/15	埋蔵文化財講座「遺跡めぐり」	文化財課	
3/15	ミニコンサート	文化財課	
3/19	社会教育委員会議(第3回)	生涯学習課	
3/20	第1回岡山市通学路安全推進会議	指導課	
3/20	八角園舎のなかよしひろば「リズム遊び」	文化財課	
3/21	「収蔵品画像検索システム」の公開に係る説明会	オリент美術館	
3/24	適応指導教室トラングルー宮竣工式	指導課	
3/26～31	子ども会ジュニアリーダー研修会	こども企画総務課	
3/27	教育広報紙「こらぼ」イメージキャラクター命名式及び感謝状贈呈式	教育企画総務課	

<p>3/27～3/31 3/30</p>	<p>子ども会インリーダー研修会 岡山市ジュニアオーケストラ 第16回スプリングコンサ ート</p>	<p>こども企画総務課 こども企画総務課</p>
<p>奥津委員 オリエン特美術館長 教育長 オリエン特美術館長 曾田委員 オリエン特美術館長 曾田委員 オリエン特美術館長 曾田委員 委員長 こども企画総務課担 当課長 委員長 こども企画総務課担 当課長 曾田委員 生涯学習課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリエン特美術館の「収蔵品画像検索システム」とはどのようなシステムなのか。 ○ 約1,000点の収蔵品の画像をインターネット経由で閲覧できる。閲覧するためにはソフトウェアのインストールが必要。従来、「検索」というと専門用語などにより検索するものが多かったが、当該システムでは、地域や年代のほか色や形状でも検索でき、使い勝手の良いものとなっている。これによりインターネットのアクセス件数も20パーセント程度増加している。 当該システムを作るにあたっては、市内2つの中学校において学芸員の出前授業を行い、反応を見ながら制作した。今後、美術や社会の授業での活用も図りたい。 ○ スマートフォンやタブレットからの利用はどうか。 ○ オリエン特美術館では2年前から情報化を進めており、館内のタブレット端末を使った展示物のガイダンスを実施している。また、iPhoneでは"Nabu"というアプリを入れることにより、展示品情報をダウンロードできる。これは若年層の利用が多い状況である。 昨年度基本システムを作っているので、今年度は写真などコンテンツの充実を図っていく計画である。 ○ 画像は自由に使えるのか、著作権等は問題ないのか。 ○ 転載されて印刷物になると問題になるため、画像の質を落としている。 ○ 企画展のデータも入っているのか。 ○ オリエン特美術館の収蔵品に限られており、一時貸与等のものを入れることは難しい。 一方、アプリでは現在開催している企画展のデータも入れることができる。 ○ トラングルー宮の竣工式に参加した感想であるが、ステンドグラスを子どもたちの作品で飾ったり、子どもたちのコメントがあつたりと、子どもたちの意欲を引き出すことを考えていると思った。 ○ 子ども会ジュニアリーダー研修会について、小学6年生から高校生とあるが、参加者は毎年参加しているのか。 ○ 割合は把握していないが、リーダーがだんだん上がっていく状況なので、毎年参加している者もいる。 ○ この研修会を受けた人たちはその後どのような活躍をしているのか。 ○ 地域の子ども会で活動している。地域でリーダーとしてやっていけるようにキャンプ等を通じて経験している。 ○ 社会教育委員会議はどのようなテーマを話し合ったのか。 ○ 「図書館のあり方について」と「生涯学習新規重点事業について」等について意見をいただいた。 	

7 議事の概要

委員長	○ 4月定例岡山市教育委員会を開催する。
委員長	○ 本日の傍聴希望者は1名。入室してもらってよいか。
全委員	○ <承認>
委員長	○ 日程第1, 会期は本日1日限りとしてよいか。
全委員	○ <承認>
委員長	○ 日程第2, 3月定例会の議事録に問題はないか。
全委員	○ <承認>
委員長	○ 日程第3, 教育長等の報告, 事業報告について質問はないか。 (会議録6「教育長等の報告」に記載)
委員長	○ 議事に入る前に会議の公開・非公開について諮る。 日程第4の第11号議案は、附属機関等の委員の任免に関する事項として、 会議規則第9条第1項第2号に該当するため、非公開としたいが、よいか。
全委員	○ <承認>
委員長	○ それでは、日程第4の第11号議案は、非公開とする。
委員長	○ 日程第4, 第10号について説明願う。
教育企画総務課長	○ 説明(第10号議案の資料に沿って説明)
委員長	○ 質問, 意見はないか。
曾田委員	○ 平成26年度の数値目標を変えることは可能か。
教育企画総務課長	○ 1年ほど前から各事業の目標を設定し、4月当初に調査結果を入れたものである。目標値としての疑義の部分は、次回以降に変更を検討したい。
曾田委員	○ 平成25年度に目標が達成できていた項目は見直すのか。
教育企画総務課長	○ 基本的には当初設定した目標値は変更しない。上積みによっていくという ことで考えている。目標の設定の妥当性も今後精査していく。
曾田委員	○ 「学校における人権教育の充実」については岡山市がアクションプランと しても掲げているが、最初の指標が54%というのは低いと感ぜられる。学 力の問題・不登校・いじめ・暴力問題について、人権をベースに考えよう という教職員の姿勢が実績・目標値とも他と比べても低いと思われる。指標の 取り方が気になる。
曾田委員	○ 「こらぼミーティング」に「訪問先を希望する教育機関等」とあるが、こ の「等」とはどういうものがあるのか。
教育企画総務課長	○ 今年度は青少年育成協議会に参加し、そのグループ協議に入ってもら うことなど、教育機関以外の任意団体にも広く周知したいと考えている。今 後は、例えば商工会議所の職場研修で子育ての意見交換を行えたらよいと考 えている。
曾田委員	○ 「教育相談室・適応指導教室整備事業」の指標について、利用者数が増 えればよいが、不登校児童生徒数を減らすということを考えたとき、指標は 不登校児童生徒数の何%が活用しているというものにした方がよいのでは。
教育企画総務課長	○ 行きたくても行けないという子どもたちを発掘して、全体の不登校の子 どもたちが少しでも、一人でも多く通えるようにということからこのような 指標となったと思われる。指標の見直しも必要かもしれないので担当課へ伝 える。
委員長	○ 「あの人の生き方に学ぶ」で74%の実績値であるが、残り26%はそこ に価値が見いだせなかったと受け取れるが理由はあるか。
指導課長	○ 理由は別途確認する。
委員長	○ 話を聞いて、子どもたちの心に響かなかったというように先生方が捉え ているのであれば、少し工夫をする余地があるのではないかと感じた。

委員長 指導課長	○ 「外国青年招致事業（ALT）」に関して、満足度が低いように感じている。 ○ アンケートは4段階で実施しているが、当該実績値は4段階の最上位の段階の値である。2段階目の値を肯定的意見としてまとめると90%以上の実績値となる。
委員長 指導課長 曾田委員	○ ALTは研修を受けているのか。 ○ 定期的な研修は行っていないが、委託先において実施している。 ○ アクションプラン全体として、数値目標を設け事業別にまとめてみると、教育委員会全体でしていることや、これからすることが見やすい。
曾田委員	○ 「家庭、学校園、地域社会のネットワークを生かした教育環境の充実」では就学前の事業が多い。地域として関わるのが薄く感じられる。
教育企画総務課長	○ 就学前に特化した事業ができないかというのは我々も感じている。昨年度、岡山っ子育て条例推進会議では、それぞれ地域でまず第一歩としてできること、事業所としてできることというものを考えてみようということで会議を開催し、どのような目標を立て、どんな実践をしているのかということを出し合うものとして夏頃に2回目を計画している。そうした流れの中で、地域の中での取組も把握できると考えており、支援・応援できるものがないか探っていきたい。アクションプランに盛り込めるものがあれば盛り込んでいきたいと考えている。
委員長	○ 少し前に公民館主事の勉強会に参加したが、公民館が子どもの居場所として使われている事例も出てきた。講座だけではなく、放課後の子どもたちが立ち寄る場所として使われるような話も出てきた。（公民館の職員が）振興基本計画を読んで、公民館に何ができるかということを考え、学校に関わりたいたいという気持ちがあるが、学校が多忙で声がかかけられない・声をかけても応じてもらえないという不満があった。地域の公民館と学校だけではできないことも、教育委員会が介在することでうまくいくのではと感じた。
曾田委員	○ 「学校問題解決サポート事業」について、満足度が実績値・目標値ともに100%である。難しい問題だと思うが、この数値は学校へのアンケートの結果か。
指導課長	○ 学校に対するアンケートの結果である。解決・解決に至らないものも合わせて行政が学校をサポートするという点において満足度は100%である。
曾田委員	○ 窓口で受理した学校の分母が少ないので、今後1校が満足できなかったら、激減してしまう。指標として少し問題があるのではないか。次回以降全般的な指標の見直しを。
委員長 全委員 委員長 委員長	○ 第10号議案を承認してよいか。 ○ <承認> ○ 第10号議案を承認する。 ○ 以上で、公開議案の審議は全て終了する。

傍聴の状況		
報	道	1名
一	般	0名

平成26年4月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	平成26年4月22日（火）		
2 開会及び閉会	開 会	14時53分	
	閉 会	15時35分	
3 出席委員	委 員 長	塩 田 澄 子	
	委 員	曾 田 佳 代 子	
	委 員	東 條 光 彦	
	委 員	奥 津 晋	
	委員（教育長）	山 脇 健	
4 会議出席者			
職 名	氏 名	職 名	氏 名
教育次長	渡 辺 和 夫	教育次長	植 田 朋 哉
統括審議監	佐々木 辰 昭	審議監（学校教育担当）	天 野 和 弘
教育企画総務課長	長 瀬 尚 樹	指導課長	堀 井 博 司
5 議題及び結果			
第11号議案 岡山市教科用図書選定委員会委員の委嘱について			原案可決